



子育てひろば 「あのねっとのへや」

「あのねっと」という言葉は、子どもたちが何かを伝えようとするとき、無意識に飛び出す言葉「あのね」からできました。日常の親子のふれあいを大切に、子どもにも大人にも心地よい場所になるように、「あのねっとのへや」と名付けました。

そんな「あのねっとのへや」では子どもはもちろん、大人も楽しめる「木のおもちゃ」「絵本」などを提供しています。木のおもちゃは触ったときの柔らかさや優しい肌触り、温もりだけでなく、木独特のおいや木目の美しさがあり、また、木と木が合わさった時の心地よい音の響きなど、五感を刺激する要素をたくさん含んでいます。そして、シンプルなデザインが多いがゆえに遊び方が限定されず、想像力を刺激することができるのです。大人も子どもと一緒に遊べる場となるよう、あえて対象年齢を決めず、それぞれの楽しみ方やあそびの展開が自由にできる空間として提供しています。

カウンターに並んでいる木のおもちゃは「おもちゃチケット」を使って、借りて遊ぶことができます。木のおもちゃは、カラフルで見た目にも楽しい気持ちにさせてくれます。「どのおもちゃで遊ぼうかな?」とワクワクした子どもたちの表情がとてすてきです。部屋

にはテーブルが用意しており、家族ごとにじっくりと遊ぶことができます。テーブルという基地(自分の場所)があることで、あらゆる年齢の子どもたちが同じ部屋の中でそれぞれの遊びを楽しめる環境です。また、みんなで遊べる「KAPLA®コーナー」もあります。

「KAPLA®」とは、1種類の板からイメージしたものを何でも作れる不思議な板で、「魔法の板」とも呼ばれている木製のブロックです。並べたり、立てたり、積んだりして、自由な造形を楽しむことができます。

あのねっとのへやには、子どもたちの成長のきっかけになるしかけが隠されています。親子や家族でじっくりと関わる中で、普段の生活では見過ごしていた子どもの成長に気づくことができるかもしれません。子どもたちがどんなことに興味を持ち、楽しみ、笑っているのか、子どもの目線に立って、大人も一緒に体験してみてください。

あのねっとのへやの合言葉は“大人が楽しいと子どもはうれしい!”です。大人の笑顔を見ることで、子どもは安心します。大人が夢中になって遊ぶ姿を子どもはとても喜びます。大人も子どもの心に戻って、親子で、家族で遊ぶ、楽しい時間にしていただきたいと思います。



2F「あのねっとのへや」
親子・家族で遊ぶことができます。

平日…定員10組、随時受付
土・日・休日、学校長期休業期間…各回10組、50分間の席入替制



令和5年冬季特別企画として実施しました。

音のへや

音の出る道具や仕掛けをたくさん用意しました。

「冬季特別企画」

すます みみを

今回の企画では、私たちの身の回りの音にそと「みみをすます」さまざまなあそびのプログラムを実施しました。紙、土、石、金属などの素材から生まれる音を確認したり、アーティストが制作したサウンドオブジェの音を楽しんだり、館内に設置したサウンドボックスを探して音を線や言葉で表したり、小さな録音装置でいろいろな場所の音を集めたり、新しい気づきのきっかけとなる「みみをすます」体験の場となりました。



音のせん

館内に隠れている音を探して、線と言葉にします。



音のカタチ

くじをひいて出た音の言葉からイメージしたカタチを土の粘土でつくります。

●あつまるあそびプログラム



タワレコ

小さな録音装置を使って色々な場所の音を50個集めました。集まった音を全部鳴らして聞いてみました。

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤かをり

第48話

門出のときに 一心を開いて歩もう

募集と お知らせ

お父さん応援プログラム 「アナログカフェ」

毎月第3日曜日にオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもがボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ごしてください。

日時：毎月第3日曜日 13:30～15:30 随時参加
場所：2階「コラボラボ」
対象：小学生以上とその父親



毎年この季節になると、これから新しいステージに進んでいく子どもたちや親御さん方のことを思います。特に新しく入学や入園する子どもたち、それを見送るお母さんお父さんは心がざわつくこともおありだろうと思います。

私がメインの働き場とさせていただいている小さい子どもたちと親御さんの療育施設でも、親御さんの心は期待と不安とが入り乱れているようです。

育児休業を終えて職場に復帰される方のなかには、兄弟が同じ保育園に入れるか気をもんでおられる方もいます。すべての方が望み通りというわけにはいかなかったのではないのでしょうか。望むときに、望む保育・教育施設に入ることができる、そしてどの子にも、必要十分な保育・教育が提供される—そのような状態になっているとは、残念ながらやはり言えないようです。

そんな中で私は親御さんにいつも、自分の子どものことを先生方になるべくたく

さん伝えてくださいと話します。こんなことが好き、こんなことが苦手、困ったときにはこんな様子、こんな風に手助けすると受け入れやすい…。先生にうろさがられないかと心配される方もありますが、大多数の保育・教育施設は、子どもたちの育ちを応援したいと考えておられます。親御さんと同じ方向を向いてくださいます。時や方法を選ぶことは必要とは思いますが、心を開いて話してほしいと思います。お願いするばかりではなく、うまくいく方法をお互いに探し合う関係が築けたらと思うのです。

大人の最大の願いは、子どもがたくさんの人に愛され、良い関係を築き、広い世界に進んでくれることではないのでしょうか。その手本となってくださるとよいと思います。

そして、子どもたちがなるべく早く頼りにできる先生を見つけ、新しい場所のびのびと居られる場所になってくれるといいなと心から祈ります。

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さん、保護者のみなさんが“一緒に”楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

日時：3/6(水) つみきであそぶ
3/13(水) えのぐであそぶ
(春休み中はお休みします。)
対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその保護者
定員：15組程度



つみきであそぶ

各回のプログラムの内容や時間、受付方法等の詳細はHPをご確認ください。また、Instagramでもお知らせを配信しています。

あそび実験工房 フジマツの「お茶の時間」

ごはんやお菓子を食べるとき、休けいするとき、だれかと過ごすとき、毎日のいろんな場面で登場する「お茶」に注目してみます。だれかのために淹れたり、みんなで一緒に飲んだり、お茶について考えたりする時間です。

日時：3/20(水・祝)
10:00～12:00「煎じる」(キッチンスタジオ/見学のみ)
14:00～16:30「飲む」(えほんのへや)



移動児童館・ゆめたま号

愛知県児童総合センターのあそびとスタッフを「ゆめたま号」に乗せて、県内の児童館などに運びます。現地のスタッフとともに地域の子ども・大人に向けてあそびのプログラムを実施します。

令和6年度のスケジュールは4月ごろHPにてお知らせします。

Instagram [acc_aichi] 更新中

愛知県児童総合センターではInstagramにて、みんなであそびプログラム「発見!あそびの基地」や特別企画、親子であそび「トコトコプログラム」、中高生プログラム、移動児童館など、日々の活動の様子を紹介したり、あそびのプログラムへの参加申込についてお知らせしています。

Instagramアカウントはコチラ→
(acc_aichi)



*プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。